

平成 30 年度吹田市ケアネット実務者懇話会作業部会の取組について

A 医療・介護資源の把握

1 活動目的

医療や介護が必要になっても安心して暮らしていける地域に向けた、現在の地域の医療・介護サービス資源を可視化することで、住民及び医療・介護関係者が活用することができるシステムを導入して、活用促進する。

2 構成員（予定）

事務局：高齢福祉室、地域包括支援センター

作業部会員：医療機関地域連携窓口、居宅介護支援事業者、訪問介護事業者、通所介護事業者、吹田市健康医療部地域医療推進室

3 平成 30 年度の取組予定

- ・今年度は、医療機関情報の詳細等について掲載予定で、その内容確認を行う。
- ・「すいた年輪サポートナビ」が、市民や医療・介護関係者の使いやすいものになっているかを検証・評価する。

4 システム運用実施状況

「すいた年輪サポートナビ」へのアクセス数

	平成 29 年 11月	12月	平成 30 年 1月	2月	3月	4月	5月
トップページ	2,037	1,156	1,288	1,356	1,514	1,963	1,819
介護相談 メニュー	309	123	153	156	190	194	200
ケアマネ検索 メニュー	449	196	245	273	325	360	352
サービス検索	1,124	588	943	1,000	1,116	1,158	1,259
空き情報検索	545	400	287	250	332	355	338
事業者詳細	11,256	8,148	7,206	8,246	10,535	5,113	6,697

B 医療機関と地域連携のルールづくり

1 活動目的

医療・介護関係者等が情報を共有し、切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築を図るための具体的な手段を検討する。

2 構成員（予定）

事務局：地域包括支援センター

作業部会員：医療機関地域連携窓口、居宅介護支援事業者、訪問看護事業者、訪問介護事業者

3 平成 30 年度の取組予定

3月に「大阪府入退院支援の手引き」が作成され、普及に向けた取組が始まっている。これまでの成果物である「利用者情報提供書」、「介護保険の居宅サービスを利用される方の入院から退院までの支援フロー図」や「入院・退院支援にかかる診療報酬および介護報酬」、「退院時カンファレンスチェックシート」の効果的な活用を図るために見直しを行い、「大阪府入退院支援の手引き」を活用した吹田市版の入退院支援のツールについて再検討する。

C 多職種連携研修会

1 活動目的

医療・介護関係者等の多職種が共通の課題や状況を理解し、解決のプロセスを共有しながら課題解決の手法を学び、さらに「顔の見える関係」等の一環として、医療・介護の関係者のネットワーク化も図る。

2 構成員（予定）

事務局：高齢福祉室、地域包括支援センター

作業部会員：医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関地域連携窓口、居宅介護支援事業者、訪問看護事業者、訪問介護事業者、小規模多機能型居宅介護、介護老人福祉施設、吹田市健康医療部地域医療推進室

3 平成 30 年度の取組予定

- ・「看取り」をテーマに実施。
- ・平成31年1月17日（木） 「施設での看取り」の取組について実践報告予定。
- ・平成31年1月24日（木） 例年同様、グループワークを取り入れ、「在宅での看取り」をテーマに研修実施予定。

D 地域住民への普及啓発

1 活動目的

地域住民が在宅医療や介護について理解し、在宅での療養が必要になったときに必要なサービスを適切に選択できるよう、地域住民を対象とした出前講座等を実施する。

また、リーフレットの普及啓発機会や看取りに関する情報提供の方法について検討する。

2 構成員（予定）

事務局：地域包括支援センター

作業部会員：講演会等の企画・実施への協力が可能な医療機関・介護保険事業者等

3 平成 30 年度の実行予定

- ・地域包括支援センターによる出前講座の実施及び集約（リーフレットやエンディングノートの普及・啓発）
 - ・媒体の内容の見直し
 - ・吹田市立図書館パスファインダーの更新
 - ・医療機関及び介護保険事業所等との講演会等の企画・実施
- 地域医療推進室主催事業への協力
訪問看護教育ステーション主催事業への協力
講演会等を実施する場合は、年度内とする